

日常を豊かにする読書

日常を豊かにする読書とは

僕が大学6年間を通じて、取り組んで本当に良かったと思うことの一つ“読書”について紹介させていただきます。「人生に必要なものとは、一人の女性、一人の親友、一つの思い出、一冊の本である。」この言葉にあるように読書とは人生の豊かさに深く関わるものだと思います。考えてみると、[愛読書]や[座右の書]という言葉が日本語にはありますが、この言葉は“人”と“本”との間に特別な信頼関係が結ばれていることを暗示しているかのように僕には感じられます。

このパスファインダーでは、これから本を読みたい方、やさらに深く読書をしたい方向けに紹介を致します。「読書ってこんな感じか!」「これから色々な本を読んでみたい」ときつとなると思うのでぜひ参考にしてくださいと嬉しいです。

参考図書

読書についてお勧めの図書を4冊ご紹介します!

1. これから読書をしたい方
2. 読むことをゆっくりと考えたい方へ
3. 幅広い教養を身に付けたい方
4. より深く読書について考えたい方、がそれぞれ主なおすすめの方です!

- ・書名:「読書する人だけがたどり着ける場所」 斎藤 孝
- 出版社: SB新書, 出版年: 2019年
- ISBN: 9784797398489 大学図書 ID: 1610212



<相談員のコメント>

「ここで道が二つに分かれています。教養のある人生と、教養のない人生。どちらがいいですか?」大学教授である、斎藤孝さんは、授業を履修する大学一年生にまず、この言葉を投げかけ、読書に対する問いを投げかけるそうです。そんな、はっとするような言葉をかける著者が書いたこの本は、身に着けた教養は「深い人」として魅力を与え、人生観、人間観を深め、想像力を豊かにし、人格も大きくしていくことができる。そして、そんな深い人になるために、[思考力], [知識], [人格], [人生]を深める読書についてわかりやすく紹介してくれています。これからどんな読書をしように考えている人に特におすすめである一冊です。

- ・書名 / 著者名「本を読めなくなった人のための読書論」 若松英輔
- 出版社: 亜紀書房, 出版年: 2019年
- ISBN: 9784750516080 大学図書 ID: 1610440



<相談員のコメント>

読めないときは、読まなくてもいいのだよ。それこそが読むということなのだ。こんな逆説的なことを連想させてくれる不思議な本だと感じています。優しい著者の言葉によって、読書には奥深さや愛おしさを伴う、なにか不思議な力があるのだな。と、そう、感じさせてくれます。そして、「読書は本と私が営む対話であって、自分の心にあるものをそっと整えてくれるものです」このような言葉に、包み込まれるような温かい印象をきつと抱くこと間違えないです。枝葉にしとしとと降る小雨を眺めながら、ゆっくりと読みたい一冊です。

参考図書

- ・書名：「読書大全 世界のビジネスリーダーが読んでいる経済・哲学・歴史・科学200冊」堀内勉
出版社：日経BP, 出版年：2021年
ISBN：978-4296000166 大学図書 ID: 1616389



<相談員のコメント>

世界的なビジネスリーダーの背景には膨大な数の読書に裏打ちされた確かな知識と哲学が必要なのか。と感じさせてくれる一冊。また、驚くほど丁寧に編纂された200冊の名著は、ジャンルごとに整理されており、自分の学びたい分野に関する名著の概要を簡潔に紹介してくれます。自分の興味のあるキーワードから本を探すことで、本当に自分に役に立つ本が見つかると思います。ビジネスリーダーになるために読書をしようと思っている方には特におすすめの一冊です。

- ・書名：「読書について」 小林 秀雄
出版社：中央公論新社, 出版年：2013年
ISBN：9784120045400 大学図書 ID: 1610212



<相談員のコメント>

「批評の神様」と呼ばれる著者の読書に関する短編をまとめた一冊。批評の神様と呼ばれるまでの著者の練達した言葉は、読書という行為の背後に流れる、一種確信めいた真髓らしきものに、自分の思考を巡り合わせてくれます。また、流行りや目新しいだけの考えやものを好まず、長い歴史に裏付けられた人間の普遍的な知識を自分という存在を通して体得していくことが、とても大切なんだよと教えてくれるような気がします。これから人生の哲学を、読書を通じて考えたいという方に特におすすめの一冊です。